

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市辻堂一丁目計画	階数	地上15F
建設地	神奈川県藤沢市辻堂一丁目1573番1他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	120人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年7月3日
敷地面積	390㎡	作成者	株式会社コム・リンクー級建築士事務所
建築面積	234㎡	確認日	
延床面積	2,953㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.2**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	音環境、光・視環境、機能性、対応性・更新性、非再生資源の使用量削減を基本に配慮がなされた設計である。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
室内環境において、光視環境、を中心に配慮された計画である。	サービス性能において、心理性・快適性、空間のゆとりを中心に配慮がなされた計画である。	室外環境(敷地内)において、まちなみ・景観について配慮がなされた計画である。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
エネルギーにおいて、設備システムの高効率化を中心に配慮された計画である。	資源・マテリアルにおいて、部材の再利用可能性向上への取組、発泡材(断熱材)を中心に配慮された計画である。	敷地外環境において、光害の抑制を中心に配慮された計画である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される